

平成24年3月期 第2四半期連結決算概要

平成23年10月31日
住友化学株式会社

1. 業績

(単位：億円)

	平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増減	平成24年3月期 (予想)	平成23年3月期	増減
売上高	9,892	9,983	90	20,200	19,824	376
営業利益	530	540	10	750	880	△130
経常利益	521	490	△31	720	841	△121
四半期(当期)純利益	25	△27	△52	100	244	△144
1株当たり四半期(当期)純利益	1円52銭	△1円66銭	△3円18銭	6円12銭	14円86銭	△8円74銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	0.5%	△0.5%	△1.0%	2.0%	4.5%	△2.5%
平均為替レート(円/＄)	88.91	79.75	—	79.00 (下期77.50)	85.74	—
ナフサ価格(円/KL)	46,200	57,000	—	55,500 (下期54,000)	47,500	—

2. 部門別売上高・営業利益

(単位：億円)

		平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増減	平成24年3月期 (予想)	平成23年3月期	増減
基礎化学	売上高	1,527	1,523	△4	3,000	3,023	△23
	営業利益	118	125	8	170	206	△36
石油化学	売上高	3,175	3,410	235	7,100	6,499	601
	営業利益	58	78	20	150	111	39
情報電子化	売上高	1,639	1,486	△154	3,000	3,223	△223
	営業利益	171	101	△71	130	261	△131
健康・農業 関連事業	売上高	1,258	1,385	127	2,750	2,508	242
	営業利益	144	148	4	290	233	57
医薬品	売上高	2,046	1,932	△115	3,850	4,106	△256
	営業利益	147	155	8	200	287	△87
その他	売上高	247	247	△0	500	466	34
	営業利益	9	35	26	50	41	9
全社費用等	売上高	—	—	—	—	—	—
	営業利益	△115	△101	14	△240	△260	20
合計	売上高	9,892	9,983	90	20,200	19,824	376
	営業利益	530	540	10	750	880	△130

※第1四半期連結会計期間からセグメントの変更を行っており、前年同四半期および前期実績値についても、比較のため組替を行っております。セグメント変更の詳細については、添付資料11ページをご参照ください。

3. 要約連結損益計算書

(単位：億円)

	平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増減
売上高	9,892	9,983	90
営業利益	530	540	10
持分法投資損益	75	10	△65
為替差損益	△64	△38	26
その他の	△20	△22	△2
経常利益	521	490	△31
持分法投資損失(※)	△287	△289	△1
事業構造改善費用	△9	△10	△1
その他の	-	15	15
税金等調整前四半期純利益	225	206	△19
法人税等	△109	△139	△30
少数株主損益調整前四半期純利益	116	67	△49
少数株主利益	△91	△94	△3
四半期純利益(△は損失)	25	△27	△52

(※) 関係会社のれん相当額一時償却

4. 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成23年3月期末 現在	平成24年3月期末 第2四半期末 現在	増減		平成23年3月期末 現在	平成24年3月期末 第2四半期末 現在	増減
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	10,983	11,008	24	支払手形及び 買掛金	2,280	2,190	△89
現金及び預金	837	693	△145	有利子負債	10,403	10,454	51
受取手形及び 売掛金	4,138	4,029	△109	その他	3,401	3,240	△161
たな卸資産	3,581	3,808	226	負債合計	16,084	15,885	△199
その他	2,427	2,479	52	(純資産の部)			
固定資産	12,690	12,396	△294	株主資本	6,039	5,912	△128
有形固定資産	5,525	5,748	222	その他の包括利益累計額	△815	△826	△11
無形固定資産	1,848	1,658	△189	少数株主持分	2,364	2,433	69
投資その他の 資産	5,317	4,990	△327	純資産合計	7,589	7,519	△70
資産合計	23,673	23,404	△270	負債・純資産合計	23,673	23,404	△270

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増減
営業キャッシュ・フロー	748	572	△176
投資キャッシュ・フロー	△932	△601	331
差引(フリー・キャッシュ・フロー)	△185	△30	155
財務キャッシュ・フロー	494	△26	△519
その他の	△38	4	42
現金及び現金同等物の増減	271	△52	△323



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 住友化学株式会社

コード番号 4005 URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 十倉 雅和

問合せ先責任者 (役職名) 経理室部長 (氏名) 佐々木 啓吾

TEL 03-5543-5265

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	998,281	0.9	54,035	1.9	48,993	△6.0	△2,713	—
23年3月期第2四半期	989,245	34.6	53,043	374.8	52,107	569.1	2,515	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 4,653百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △35,014百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1.66	—
23年3月期第2四半期	1.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,340,351	751,870	21.7
23年3月期	2,367,314	758,886	22.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 508,593百万円 23年3月期 522,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	6.00	9.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,020,000	1.9	75,000	△14.7	72,000	△14.4	10,000	△59.1	6.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行っております。

詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(その他)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	1,655,446,177 株	23年3月期	1,655,446,177 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	20,775,285 株	23年3月期	20,744,415 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	1,634,683,951 株	23年3月期2Q	1,651,032,922 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・これらの予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。なお、業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報等.....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べ90億円増加し、9,983億円となりました。損益面では、営業利益は540億円となり、前年同四半期を上回りましたが、経常利益は持分法投資利益の減少により490億円となり、前年同四半期を下回りました。また、四半期純損益につきましては、経常利益の減少に加え、多額の特別損失を計上したこと等により27億円の損失となり、前年同四半期を下回りました。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき6円として実施させて頂くことといたしました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の業績の概況は次のとおりです。

(基礎化学)

メタクリルの販売は海外市況の上昇により増加しました。合成繊維原料は市況は上昇しましたが、震災の影響を受け出荷が減少しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べほぼ横這いの1,523億円となり、営業利益は、前年同四半期に比べ8億円増加し125億円となりました。

(石油化学)

合成樹脂や石油化学品は、震災の影響を受け、一部製品の国内出荷が減少しましたが、ナフサ等原料価格の高騰に伴う海外市況の上昇や国内販売価格の是正により、販売が増加しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ235億円増加し3,410億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ20億円増加し78億円となりました。

(情報電子化学)

液晶ディスプレイ材料である偏光フィルムは需要の増加により出荷が増加しましたが、カラーフィルターの出荷は減少しました。偏光フィルム、カラーフィルターともに販売価格が下落したことに加えて、円高による在外子会社の邦貨換算の影響もあり、売上高は前年同四半期に比べ154億円減少し1,486億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ71億円減少し101億円となりました。

(健康・農業関連事業)

メチオニン（飼料添加物）の販売は順調に拡大しました。農薬は海外での除草剤の出荷が引き続き堅調に推移しました。この結果、円高による在外子会社の邦貨換算の影響はありましたが、売上高は前年同四半期に比べ127億円増加し1,385億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ4億円増加し148億円となりました。

(医薬品)

平成23年2月より米国にてラツータ（非定型抗精神病薬）の販売を開始しました。アバプロ（高血圧症治療剤）やロナセン（非定型抗精神病薬）、新製品であるトレリーフ（パーキンソン病治療剤）やメトグルコ（ビッグアナイド系経口血糖降下剤）については引き続き拡販に注力したため、販売が増加しました。一方、アムロジン（高血圧症・狭心症治療剤）は後発品との競争により販売が減少しました。この結果、円高による在外子会社の邦貨換算の影響もあり、売上高は前年同四半期に比べ115億円減少し1,932億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ8億円増加し155億円となりました。

(その他)

上記5部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。これらの売上高は前年同四半期並みの247億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ26億円増加し35億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ270億円減少し2兆3,404億円となりました。関係会社株式のうち時価が著しく下落したものに係るのれん相当額を一時償却したこと等により、投資有価証券が減少したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ199億円減少し1兆5,885億円となりました。支払手形及び買掛金や、流動負債（その他）に含まれる未払金等が減少したことが主な要因であります。なお、有利子負債（短期借入金、1年内償還予定の社債、コマーシャル・ペーパー、社債および長期借入金の合計でリース債務を除く）は前連結会計年度末に比べ51億円増加し1兆454億円となりました。

純資産（少数株主持分を含む）は、利益剰余金の減少や、その他有価証券評価差額金等のその他の包括利益累計額が悪化したことにより、前連結会計年度末に比べ70億円減少し7,519億円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.4ポイント低下し、21.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く状況は、欧米の景気の先行きへの懸念から世界経済に下振れリスクが強まっており、また、国内経済は円高の影響等もあり、事業環境は引き続き厳しいものと思われま

当社グループは、このような環境を乗り越え、今後のさらなる飛躍を実現するため、「中期経営計画」（平成22年度～平成24年度）で定めた基本的な取り組み事項のうち、「財務体質の強化」および「グローバル経営の深化」に特に重点を置きながら、事業基盤の一層の強化・充実、先行投資案件からの成果の最大化を着実に推し進めてまいります。

通期の業績見通しにつきましては、平成23年7月29日公表の平成24年3月期通期業績予想を修正し、売上高は前期比1.9%増収の2兆200億円、営業利益は750億円、経常利益は720億円、当期純利益は100億円を予想しております。

なお、為替レート、原料価格の前提につきましては、下期の為替相場を77.5円/\$、ナフサ価格を54,000円/KLと想定しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し業績に変動を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・ 税金費用の計算

一部の連結子会社では、税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

・ 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、主として定額法に変更しております。

前中期経営計画（平成19年度～平成21年度）に基づき、当社が実施した大型の国内製造設備の生産能力増強等については、前連結会計年度までに本格稼働を開始しており、今後は安定的な稼働率や収益の推移が見込まれることや、海外の連結子会社は定額法が多数を占めていることなどから、定額法が当社の企業活動をより適切に反映した減価償却方法と判断できるためです。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は7,804百万円増加し、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8,179百万円増加しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,746	69,259
受取手形及び売掛金	413,773	402,851
有価証券	96,074	103,882
商品及び製品	259,206	277,808
仕掛品	12,587	16,410
原材料及び貯蔵品	86,353	86,574
その他	148,437	145,093
貸倒引当金	△1,832	△1,105
流動資産合計	1,098,344	1,100,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	200,520	198,257
機械装置及び運搬具(純額)	200,207	202,146
その他(純額)	151,814	174,378
有形固定資産合計	552,541	574,781
無形固定資産		
のれん	79,662	76,239
その他	105,088	89,574
無形固定資産合計	184,750	165,813
投資その他の資産		
投資有価証券	401,046	369,571
その他	131,699	130,450
貸倒引当金	△1,066	△1,036
投資その他の資産合計	531,679	498,985
固定資産合計	1,268,970	1,239,579
資産合計	2,367,314	2,340,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	227,987	219,043
短期借入金	214,130	217,909
1年内償還予定の社債	20,978	32,064
コマーシャル・ペーパー	104,000	85,000
未払法人税等	15,413	18,654
引当金	51,193	54,085
その他	164,495	145,987
流動負債合計	798,196	772,742
固定負債		
社債	357,000	362,000
長期借入金	344,226	348,428
退職給付引当金	29,454	30,980
その他の引当金	10,030	9,276
その他	69,522	65,055
固定負債合計	810,232	815,739
負債合計	1,608,428	1,588,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	89,699	89,699
資本剰余金	23,695	23,695
利益剰余金	499,287	486,542
自己株式	△8,747	△8,759
株主資本合計	603,934	591,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,918	44,457
繰延ヘッジ損益	△42	△144
土地再評価差額金	3,815	3,815
為替換算調整勘定	△135,152	△130,712
その他の包括利益累計額合計	△81,461	△82,584
少数株主持分	236,413	243,277
純資産合計	758,886	751,870
負債純資産合計	2,367,314	2,340,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	989,245	998,281
売上原価	702,819	715,097
売上総利益	286,426	283,184
販売費及び一般管理費	233,383	229,149
営業利益	53,043	54,035
営業外収益		
受取利息	1,021	890
受取配当金	2,486	2,810
持分法による投資利益	7,489	1,026
雑収入	6,182	5,004
営業外収益合計	17,178	9,730
営業外費用		
支払利息	6,452	6,141
コマーシャル・ペーパー利息	93	59
為替差損	6,396	3,821
雑損失	5,173	4,751
営業外費用合計	18,114	14,772
経常利益	52,107	48,993
特別利益		
有形固定資産売却益	—	1,235
投資有価証券売却益	—	247
特別利益合計	—	1,482
特別損失		
持分法による投資損失	28,724	28,854
事業構造改善費用	856	985
特別損失合計	29,580	29,839
税金等調整前四半期純利益	22,527	20,636
法人税等	10,911	13,903
少数株主損益調整前四半期純利益	11,616	6,733
少数株主利益	9,101	9,446
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	2,515	△2,713

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,616	6,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,614	△5,605
繰延ヘッジ損益	226	△41
為替換算調整勘定	△24,110	1,999
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,132	1,567
その他の包括利益合計	△46,630	△2,080
四半期包括利益	△35,014	4,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35,740	△3,836
少数株主に係る四半期包括利益	726	8,489

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,527	20,636
減価償却費	68,213	52,671
のれん償却額	3,818	3,897
持分法による投資損益(△は益)	26,511	32,057
引当金の増減額(△は減少)	△609	3,664
受取利息及び受取配当金	△3,507	△3,700
支払利息	6,545	6,200
事業構造改善費用	389	353
売上債権の増減額(△は増加)	△24,211	10,104
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,295	△22,565
仕入債務の増減額(△は減少)	19,202	△9,695
その他	△15,831	△16,890
小計	91,752	76,732
利息及び配当金の受取額	3,228	3,394
利息の支払額	△6,433	△6,104
法人税等の支払額	△13,790	△16,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,757	57,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△7,286	△22,065
有価証券の売却及び償還による収入	9,330	25,022
投資有価証券の取得による支出	△59,067	△6,116
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,867	868
固定資産の取得による支出	△42,549	△58,689
固定資産の売却による収入	1,606	2,055
その他	891	△1,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,208	△60,115
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,254	△34,790
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	32,000	△19,000
長期借入れによる収入	9,554	65,310
長期借入金の返済による支出	△6,758	△18,584
社債の発行による収入	55,565	27,081
社債の償還による支出	△31,028	△10,984
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△727	△576
自己株式の取得による支出	△10	△12
配当金の支払額	△9,912	△9,814
少数株主への配当金の支払額	△4,645	△5,057
少数株主からの払込みによる収入	1,066	3,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,359	△2,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,796	376
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	27,112	△5,155
現金及び現金同等物の期首残高	120,660	151,609
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△71
現金及び現金同等物の四半期末残高	147,772	146,383

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はない。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	152,320	340,993	148,588	138,521	193,181	973,603	24,678	—	998,281
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,820	4,274	2,449	2,901	3	17,447	28,062	△45,509	—
計	160,140	345,267	151,037	141,422	193,184	991,050	52,740	△45,509	998,281
セグメント利益	12,524	7,795	10,083	14,778	15,456	60,636	3,502	△10,103	54,035

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。
- 2 セグメント利益の調整額△10,103百万円には、セグメント間取引消去△91百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△10,012百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの変更

第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分方法を以下のように変更している。

- ・「精密化学」を廃止し、同セグメントに含まれていた機能性材料、添加剤、染料等を「基礎化学」に移管した。また、同セグメントに含まれていた医薬化学品等を「農業化学」に移管し、これに伴い「農業化学」を「健康・農業関連事業」に改称した。
- ・「医薬品」に帰属する連結子会社の、「その他」に含まれていた事業を「医薬品」に変更した。

なお、前第2四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、次のとおりである。

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	152,681	317,454	163,948	125,829	204,641	964,553	24,692	—	989,245
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,341	4,743	2,858	2,653	4	16,599	24,685	△41,284	—
計	159,022	322,197	166,806	128,482	204,645	981,152	49,377	△41,284	989,245
セグメント利益	11,771	5,763	17,146	14,366	14,663	63,709	856	△11,522	53,043

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。
- 2 セグメント利益の調整額△11,522百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△11,526百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はない。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はない。